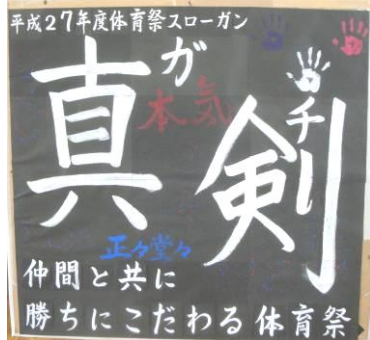


多治見市立北陵中学校
 多治見市旭ヶ丘10-6
 TEL 0572-27-6068
<http://school.city.tajimi.gifu.lg/~hokryo//>

生徒会スローガン



北陵中体育祭

総合優勝 : 紅軍

応援優勝 : 紅軍



【応援団長による選手宣誓】

9月17日(木)に本校の体育祭が行われました。小雨が降る生憎の天気にも関わらず多くの来賓や保護者の方々に応援に駆けつけていただきました。生徒会スローガン「真剣～仲間と共に勝ちにこだわる体育祭～」の通り、朝早くから係の仕事の為駆け足で移動する姿、係の仕事ではないのにボランティアでグラウンドの土入れや水取りをする姿、競技においては、たとえ走るのが得意でなくても、誰一人手を抜くことなく、学級や団の仲間のために真剣(ガチ)に走ったり跳んだりする姿が多く見られました。

学級対抗リレーでは、順位が悪くても最後まで全力で走ったり、バトンパスをミスしてくやし涙を流したりするなど、真剣に取り組むことができました。

大縄跳びでは、各学級で跳び方や回し方を考え、心と声を合わせ跳びました。全校1位には、28人で106回を跳んだ3年5組が輝きました。昨年度は87回が優勝記録でしたが、27人で95回を跳んだ3年4組もその記録を越えました。

学年種目では、どの学年も班や学級での話し合いや練習の成果を発揮し、声を掛け合いながら、学級ごとの団結力を示すことができました。



【水取りをする生徒達】

そして応援合戦、どの団も見事な応援を披露しました。特に声の迫力と動きの美しさがどの団も素晴らしかったです。短い取り組み期間であれだけの応援ができたことは、生徒達が集中して取り組んだ努力の結果です。

どの団も自分たちの持っている力を全て出し切り、勝敗はつきましたが、勝っても負けても満足できる体育祭になったことと思います。

岡部生徒会長の言葉「今年の体育祭に携わる事が出来て本当に幸せでした。」のように、この体育祭では、夏休み前から準備を進めてきた生徒会や大岩団長・岡本団長・渡邊団長を中心に生徒全員が団結し、誰もが一回り大きく成長しました。今後も「誠実」に取り組める北陵中生の活躍を期待しています。また、体育祭当日多くの声援を送っていただいた来賓・保護者・地域の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【大縄優勝3年5組】



【青軍の応援】



【白軍の応援】



【紅軍の応援】

自分に合った活動

生徒が夏休みに行った研究や作品作りの成果を各学級で発表しました。8月31日～9月3日の4日間の展示期間中は、多くの保護者の方々に見に来ていただきました。金賞作品は旭ヶ丘公民館に9月5日(土)～9月23日(水)まで展示しました。金賞に輝いた生徒を紹介します。



【公民館展示会(上下)】



【科学作品展の様子】

○自分に合った活動 金賞 16名(1年3名 2年3名 3年10名)

- 1年：澤矢 明音(数学) 「The フラクタル」
- 佐口 玲夏(家庭) 「パッチワークのかぼん」
- 森山 裕斗(技術) 「トランスフォーマーする机とイスと本立て」
- 2年：杉浦 莉緒(家庭) 「レース」
- 高岡 桜良(家庭) 「ワンピース」
- 中野 莉子(国語) 「枕草子～春から秋～」
- 3年：塩崎 夏菜(美術) 「モザイクアート」
- 長谷川楓華(英語) 「英語のことわざ」
- 吉野 舞(国語) 「近代俳句～春夏秋冬～」
- 岡 祐月(技術) 「ベンチ」
- 遠藤 美咲(美術) 「CINDERELLA【切り絵】」
- 鈴木 聖来(理科) 「レインボーローズを作ろう PART2」
- 各務 吾聡(国語) 「かな文字【書写】」
- 西家 佳弥(美術) 「愛鳥週間ポスター」
- 安藤萌々香(家庭) 「夏のお弁当作り」
- 櫻井 夕夏(家庭) 「ワンピース、ドレス」

※理科の金賞作品は、多治見市科学作品展にも出品されました。

魚つかみ取り大会 ボランティア



9月6日(日)に、毎年地域の方々が楽しみにしている魚のつかみ取り大会が北栄小学校のプールで行われました。北陵中学校から20名のボランティアが運営に携わりました。たくさん(約1500匹)の「ます・あまご・やまめ」を男子ボランティア10名が運び、プールに入れました。女子ボランティアは、受付、誘導、会場進行とそれぞれ大活躍。プールには歓声が上がり、4歳から小学6年生までが4つのグループに分かれてつかみ取りに興じました。最後は中学生の部にボランティア20名も参加してつかみ取りを一緒に楽しみました。チームボランティア北陵は着実に地域に根付いています。

親育ち子育ちコーナー

「怒らずに叱る」

多治見市教育委員会

子どもが親(家族)と約束したことや、心優しい行いやお手伝いをしている姿などを、認め・励ますことはできていますか。子どもは、親(家族)に自分の良さを認められると、自信をもったり、自分は大切な存在であると感じたりすることにもつながります。

さて、子どもが命(けがなども含めて)にかかわる危険なことや、他人に迷惑をかけようとする、または、してしまった時には、その時やその場所で「叱って」、「なぜしてはいけないのか」を理解させておくことが必要です。

思わず感情的に「怒って」しまい、なぜしてはいけないのかが子どもにうまく伝わらないことがあります。その心配がある時は、少し時間を空けることも良いのかもしれない。

一度、日頃の子どもの叱り方を振り返ってみましょう。